

平成18年度 第1回 芦屋市立図書館協議会 会議録

日 時	平成18年10月27日(金) 14:00~16:00
会 場	図書館本館2階 大集会室
出席者	委員長 市川 真文 副委員長 信岡 利英 委員 河村 照子 委員 小西 広子 委員 前川 耕造 委員 牧野 伴枝 社会教育部長 松本 博 事務局 大西 和昭 事務局 二川 幸広
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人

1 議題

1. 図書館の運営状況等について(報告)
2. 図書館運営の方向性について

2 協議内容

開会

1. 図書館の運営状況等について

(1)平成17年度年次統計データ

事務局から平成17年度版図書館年報に基づいて報告。

(委員長)ただいまの報告の中で質問があればお願いします。

(委員)大原分室の夜間開館はいつまでしていますか。

(事務局)あとで夜間開館の利用状況を報告しますので、あわせてご説明します。

(委員)高齢者の皆さんの利用が多いようですね。

(2)利用実態調査結果

事務局から芦屋市図書館利用実態調査結果報告(w e b 上で既公開)に基づいて報告。

(委員)図書館を利用しない理由は、交通の便、自分で買う、の理由の外には目ぼしい理由がない。おおむね満足していると理解できる。

(3)館別利用状況及び祝日開館利用状況

(事務局)昨年と比べ本館、打出分室は横ばいであるが、大原分室は増加している。もちろん夜間開館がその理由と考えられるが、夜間分を除く昼間時間帯も伸びている。

(委員)大原集会所は、エレベータも設置されてエントランス回りがきれいになった。
(委員)夜間開館したことで、大原分室の存在が市民に知られたのではないか。

(4)大原分室夜間利用者数

(事務局)大原分室の夜間開館の試行期間を来年3月末まで延長し、利用データを分析して、最終判断を下します。

(委員)夜間開館で効果があるのは、オフィス街で専門性のある図書館。
大原分室は駅に近いようにみえるが、立地的には少し外れている。

(委員)経費的に大丈夫ですか。

(事務局)大原分室は今年から業者に運営を委託している。民間活力を導入して効率経営を図ったので大丈夫です。

(委員)冬季の統計もほしいので、延長して結論を出すことには賛成です。

(事務局)次回の協議会にはデータがあるので、ご判断をお聞かせいただきたい。

(5)平成19年度当初予算要求

(事務局)図書館費の要求額は、実質的に昨年とほぼ同水準ですが、図書費は500万円増額の要求を行っています。

2. 図書館運営の方向性について

(事務局)平成19年4月から、本館、分室及び曜日毎の開館時間を一本化し、利用者にとって分かりやすい時間設定となるよう考えています。

具体的には、午前10時から午後6時で一本化し、分室は、現在祝日は休室していますが、開室曜日と祝日が重なる場合は開室とします。

本館は9時30分開館から10時に後退しますが、早朝の利用者の滞在時間は長いので影響は少ないと考えています。開館時間をトータルすると増加になります。

打出分室については、芦屋図書館ボランティアの会と調整します。

(委員)土・日の午後5時閉館は早い気がしていたので、その変更には賛成です。

(委員)問題は、開館時間を増やすのはいいが、資料はどうするのかということです。

(委員)本館と分室の整理をして、分室に特色をもたせてはどうか。

3. その他

(事務局)11月1日から1ヵ月間「村上春樹 小川洋子展 芦屋ゆかりの谷崎賞作家たち」というテーマで図書展示会を催します。

(委員長)議事はこれで終わります。本日は各委員の皆様から多くの有意義なご意見をいただきありがとうございました。

閉会